

福岡みらい病院で

レボドパ・カルビドパ経腸療法を受けられた患者様へ

当院機能神経外科・脳神経内科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。この研究は当院の倫理審査委員会の審査を経て、院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	九州における進行期パーキンソン病におけるLCIG療法の安全性および効果についての長期的調査：多機関共同研究
当院の研究責任者（所属） 本研究の目的	宮城 靖（機能神経外科） 本研究の目的は、当院および共同研究施設でレボドパ・カルビドパ経腸療法(LCIG)を導入した全パーキンソン病患者さんのデータを後方視的に解析することにより、LCIGの実臨床での効果や安全性を評価するとともに、パーキンソン病治療に対する満足度やLCIGによる生活の質(QOL)の変化を明らかにすることです。
調査データ該当期間	西暦 2021年 8月31日～西暦 2026年 8月 31日
研究方法	多施設共同・観察研究 ●調査の対象となる患者様 LCIG療法を現在受けている、もしくは過去に受けていたパーキンソン病患者さん <電子カルテに記載された診療情報> 基本情報：年齢、性別、既往・併存疾患、発症年齢、LCIG導入時年齢、家族歴、生活歴 臨床情報：介護度(介護保険制度利用患者に限る)、関連症状(臨床亜型、運動合併症の有無、幻覚の有無、認知機能障害の有無、症状の左右差の有無)、LCIG開始前後の薬剤情報、LCIG開始前後のオン時オフ時の重症度(Hoehn & Yahr分類)、LCIG前後の運動機能(MDS-UPDRS Part 3)、LCIG前後のオン時間、LCIG前の認知機能評価(Montreal Cognitive Assessment、Mini-Mental State Examination)、LCIG後のQOL評価、LCIG後の介護者の評価(Zarit介護負担尺度日本語版)、有害事象・合併症・副作用・デバイスの不具合の情報、満足度評価(Net Promotor Score) <研究代表者> 福岡大学医学部脳神経内科 教授 坪井義夫
個人情報の取り扱い	対象者のプライバシーおよび個人情報の秘密を守るため、使用するデータは個人を特定できないよう全て匿名化し、研究責任者のもと機能神経外科のパスワードロックされたPC内で厳重に管理します。保管期間は研究終了後 5年間とし、破棄する際はデータを復元不可能な状態に処理して破棄します。
本研究の資金源（利益相反）	本研究の実施にあたり利益相反はありません。 研究参加による謝礼は発生しません。
お問い合わせ先	福岡みらい病院 機能神経外科 電話：092-662-3001（代表）

